

博士、お借りしていた本をお返しします。とっても面白かったです。これは最近の本ですか？

いやいや、実はこの本は30年も前のもので、わしも幾度となく読み返してあるが、装丁もいいし、今だにしっかりしているじやろ。

そうい？なんか聞いたことあるけど。。。

まあ、一般的には表紙や帯、カバーなど本の外回りのデザインのことじゃが、広い意味では、外箱などの材料選びから製本方法も含めた書籍づくりのトータルな工程を指すこともあるぞ。

そもそも書籍には、ハードカバー(上製本)とソフトカバー(並製本)があってハードカバーの本には、表紙と本文の間に必ず「見返し」がついておるし、そのほか、読みやすさはもちろん、丈夫で長持ちさせるためのさまざまな工夫がされておるのじや。

ハードカバー(上製本)

背、表紙、小口、溝、天、花布、のど、カバー、そで、帯、扉、束、見返し、スピン

へえ〜、本の部位に、こんなに細かく呼び名があったとは知らなかったなあ。

ところで博士、本屋さんで並んでいる新刊図書の売れ行きは、**パツと見の印象によって大きく左右される**といひますよね。

そのとおりじや。だから文字やイラスト、写真、配色はもちろん**最新の印刷技術を駆使したアイデア**など、デザイナーさんは日々創意工夫しておると聞くぞ。

そういえば、ベストセラーになった本の表紙は、どれもが印象的で、ついつい手に取りたくなるものが多いね。

私もこの間買ったお料理の本、ついつい表紙の写真の美味しそうな方を選んで買ったわ。

それに最近では、**自分史や家族の成長記録を本にする**人も増えているそうで、装丁デザインを自分で作ることに興味が高まってきているといひますね。

まさに、ジャケ買いってやつだね。

そろそろわしも自叙伝でも出してみるかな。

ワオ！ベストセラー間違いなしですね！

装丁(そうてい)の漢字表記について
現在は常用漢字の「装丁」が定着しているが、元来は、装(よそおい)訂める(さだめる)という意味の「装訂」やクギを打つ意味の「装釘」などの漢字が使われていた。「装幀」は、主に書画の掛け物や額の場合に用いられる。

木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献します。

日本製紙株式会社
東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com

こだわりをカタチにする印刷会社
パッケージ印刷・UVオフセット印刷・商業印刷

安定品質を目指して
印刷濃度管理システムを導入!!

www.sakudo.co.jp

作道印刷株式会社 TEL.072-963-6339
〒578-0921 大阪府東大阪市水走 1-12-20 FAX.072-963-4013